



## 第 15 回 研修コーディネータネットワークワークショップ報告書（WEB掲載用）

### 「Mission! 風通しの良い組織を構築せよ！」

～A社のライブケースから戦略を立てる～

「上司と部下の関係がうまくいっていない」「部門間のコミュニケーションがとれていない」など、組織の人間関係に対する問題は多くの企業や組織に発生しています。今回はとある企業の人事担当者の方の協力を得て、実際に現場でおきている組織の問題を題材にしてその問題解決に「人材育成や研修」を用いたワークショップを行いました。

#### 実際に起きている問題（ライブケース）

昔、200人の組織のころ

- ・ コミュニケーションが取れており、組織内の風通しが良かった。
- ・ 仕事は忙しかったがお互いが協力しあい、やりがいや達成感があった。
- ・ 社員のベクトルが一緒に、1日24時間仲間といたような雰囲気があった。
- ・ パソコンは無くアナログだったが、情報はタイムリーに入っていた。

現在、600名超の組織となり

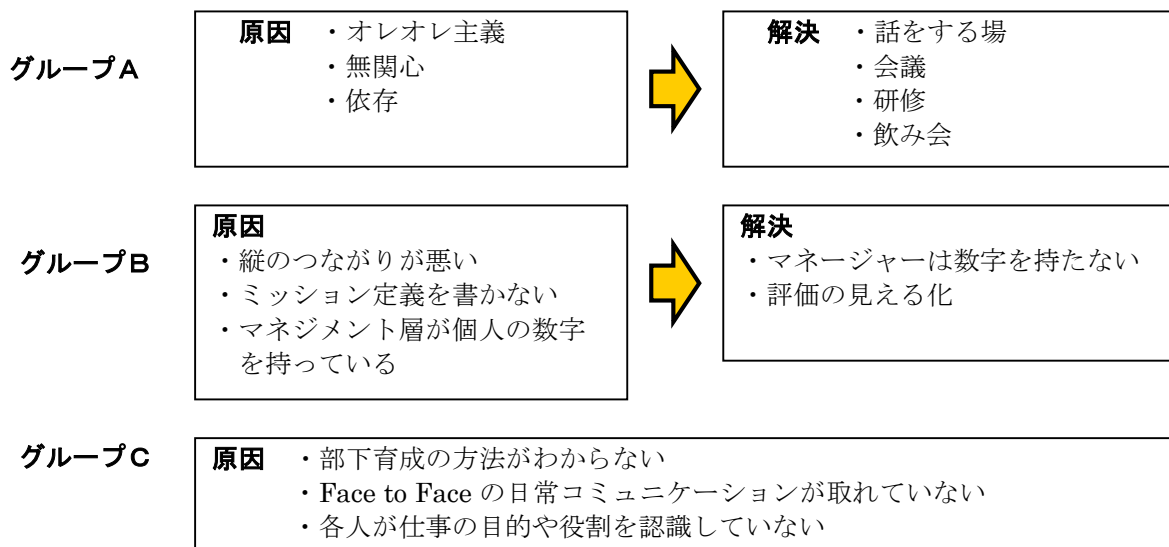
- ・ 社員間のコミュニケーションが低下している。
- ・ 年齢の若い社員がコミュニケーション不足になっているだけでなく、年輩の自分たちもコミュニケーションが取れていないと感じている。お互いに遠慮しているよう。
- ・ クレームが届かない、正確に連絡が伝わっていないなどの問題が見られるようになった。
- ・ 仕事の押し付け合いも発生している。

今回のケースは業績が良くなって組織が大きくなる一方、組織風土の問題が表面化したものです。また、この状況を改善するために研修の実施を想定しているものの、管理職から先に行うのか、新入社員から先に行うのか悩んでいるということです。

#### 当日のタイムスケジュール

19:00	開始・アイスブレイク
19:05 ～19:20	<b>事例紹介「ライブケース：A社の場合」</b> ・A社の方から実際に現場で起こっている状況について説明いただきました。
19:20 ～20:00	<b>ワーク1「原因の分析と解決に必要なこと」</b> ・今回の問題がなぜ起こったのか、その問題を解決するために何が必要なのかについてグループに分かれて原因を話し合い、全体発表を行いました。
20:00 ～20:50	<b>ワーク2「研修コーディネータネットワーク」</b> ・ワーク1の結果をふまえ、どのような研修を誰に実施すれば効果的なのかをグループで話し合い、全体発表を行ないました。

## 原因の分析と解決に必要なこと



各チームが様々な観点から原因と解決について話し合いました。共通しているのは「コミュニケーションをとる機会やしくみが無く、それをどのように作っていくか」ということだと言えるでしょう。また、全体の共通認識が無い、個々人の役割が不明確でお互いが無関心であるという意見もすべてのグループから聞こえていました。

## コーディネータワークの結果

<b>グループC</b>	<b>Step1 問題意識を持たせる</b> ファシリテーターを通して意見を出し合う（階層別 or 営業所）
	<b>Step2 研修の実施</b> 管理職向け部下育成研修、コミュニケーション研修の実施
	<b>Step3 コミュニケーションのしくみづくり</b> 定期的なミーティング、メール&携帯禁止 Day、運動会

グループ A は話し合いに熱が入り、まとめる時間がなくなりましたが、その話し合いの中で「様々な手法がある」という気づきを得ることができたようです。グループ B は参加者の意見をマインドマップ®を用いてまとめていました。グループ C はワーク 1 の内容から上記のような結論に導き出していました。



※ ワーク当日の様子

### 第 15 回研修コーディネータークワークショップ

テーマ : Mission! 風通しの良い組織を構築せよ! ~A 社のライブケースから戦略を立てる~

開催日時 : 2010 年 1 月 20 日 (水) 19:00~21:00

会場 : 東京都中小企業振興公社秋葉原庁舎 第 4 会議室

参加者 : 13 名 (講師 2 名含む)

ワーク設計・ファシリテーター : 日本研修コーディネーター協会 子安義和

報告書作成 : 日本研修コーディネーター協会 飯島宗裕